

ミッションステートメント

持続可能社会実現の一翼を担う

- Creating sustainable future -

資源とエネルギーを持続的に利用・循環させる技術と
循環システムの構築で社会インフラの根幹を支え
社会の持続可能性を高めていくことに貢献していく

ミッションステートメントは、エンビプログループが、事業を通じて社会にどんな貢献をしていくのか、その存在意義を示したものです。時代や社会環境が変化しようとも変わらない、当グループの大きな方向性を示しています。このミッションに共感する仲間に向けた「共にそれを実現して行こう」というメッセージでもあります。



サステナビリティ戦略目標

社会の持続可能性と
自社の持続可能性を同時に達成する

事業の成長 = 社会の持続可能性向上
(社会的価値と企業価値の共有と一致)

「持続可能性」は、これからの社会のありようを示す重要なファクターです。そこには、社会からの強い要請があり、大きな市場とビジネスチャンスがあります。エンビプログループは、社会の持続不可能な状況を解決する事業にフォーカスすることで、社会の持続可能性を高めるとともに、自社の事業の持続可能性を高める戦略を進めていきます。

世界的な潮流を見据え、
脱炭素社会にむけた迅速な行動

OECD (経済協力開発機構) が公表した報告書「2060年までの世界物質資源アウトルック」によると、世界の人口急増、途上国の生活水準の上昇により、原材料資源の利用量が2倍に増加すると推計されています。もはや地球上の資源では賄えないほどの大量消費が予測され、資源循環の促進は、必須の命題となっています。

IPCC (気候変動に関する政府間パネル) が特別報告書

「1.5°Cの地球温暖化」を公表し、その中で地球温暖化を1.5°C以内に抑えることで多くの気候変動影響を回避できること、そのためには二酸化炭素排出量を2030年までに約45%以上減少させ、2050年までに実質ゼロにする必要があると結論付けています。これを受け、世界中で脱炭素社会に向けた迅速な行動が求められています。

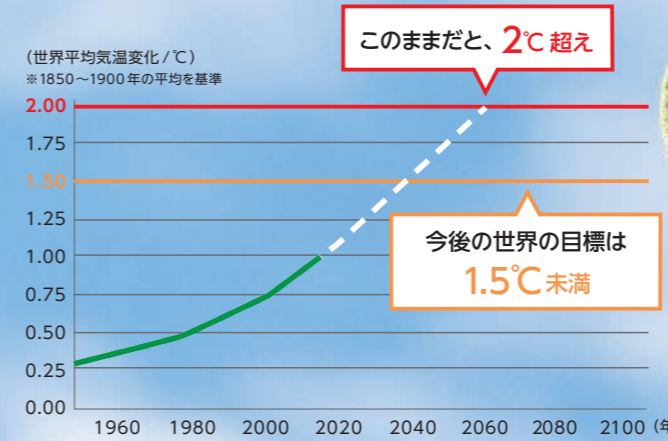
●世界の資源消費量予測



	2011年	2060年
金属	8 Gt	20 Gt
化石燃料	14 Gt	24 Gt
バイオマス	20 Gt	37 Gt
非鉱物資源	37 Gt	86 Gt

出所: Global Material Resources Outlook to 2060 OECD

●世界の気温上昇予測



世界平均気温の変化と 1.5°C目標の関係 (IPCC SR1.5 FAQ1.2 に基づく) を基に当社で作成

